

「銃犯罪撲滅を」 市民団体講演会

天神、現状を紹介

銃犯罪撲滅運動を展開する市民団体、ストップ・ガン・キャラバン隊(砂田尚彦代表)が27日、福岡市中央区天神で講演会

を開いた。警察庁や福岡県警の幹部が発砲事件や銃器を使用した暴力団の活動の実態について紹介。約150人の聴衆は真剣な面持ちで聞き入っていた。

同キャラバン隊は1996年に警察庁が創設し

た。銃犯罪の被害者やその家族などが隊員となり、銃の恐ろしさなどを訴えている。福岡県は発砲事件の件数が5年連続で全国最多。砂田代表は「銃器廃絶には監視活動など市民の協力が不可欠だ」としている。